



## 大人になったらやってみたい仕事

校長 大谷 京司

3月17日、第一生命保険株式会社による全国の小・中・高校生 計3千人を対象に行った「大人になったらなりたいもの」アンケートの調査結果が発表されました。その結果と、昨年度、本校がプログラミング学習でご協力いただいた株式会社VSNによるアンケート「大人になったらやってみたい仕事」の調査結果を比較しながら、サンプル数の違いこそありますが、今の子どもたちの憧れの仕事について私なりの考察をしてみました。

全国の小学生の結果			本校(30人)の結果	
	男子	女子	男女別なし	
1位	会社員	パティシエ	1位	パソコン系 学校の先生
2位	You Tuber /動画投稿者	教師/教員	3位	本を作る 外国での仕事 スポーツ系
3位	サッカー選手	幼稚園の先生 /保育士	6位	職人さん 食べ物を作る 博士
4位	ゲーム制作	会社員		
5位	野球選手	漫画家		

注目点としては、全国の調査結果で10位以内でなかったものの、本校の上位に入ったもの（黄色のマーカー）があげられます。株式会社VSNのアンケートは、本校以外の他校でも実施していますが、その中で他校の倍以上の高い割合を示した仕事があります。それは、「職人さん」です。

職人さんと一口に言ってもいろいろありますが、本

校のさまざまな体験活動やテーマ学習、研究発表、ものづくり等を通して、自分が興味・関心をもったことに対してこだわりをもって追求していこうという気持ちの深まりやそれに没頭することに大きな楽しさを感じていることなどが結果に反映しているのではないかと考えます。

## 園児との交流から生まれるもの

4月28日(水)、七沢幼稚園の砂場に入れる砂運びを本校の1・3年生と園児で行いました。1年生に関して言えば、小学校の中だけでは見られない、下の子への優しい言葉かけや配慮、さあやるぞ!といった意気込みやリーダーシップなど大変積極的な姿が印象的でした。

面倒を見たり見られたりという関係は、実社会と似ており、特に兄弟が少なくなった今の社会においては、異年齢の子どもたちで群れて楽しむということには大きな意味があると思います。これからも積極的に園児との関わりをもって、双方にとって有意義な活動を行っていきたいと思います。

